

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 令和3年度コンソーシアム通常総会を開催しました

去る7月6日(火)、岐阜グランドホテルにて、当コンソーシアムの通常総会を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から書面で開催し、今年度も5月に岐阜県がまん延防止等重点措置区域に指定されたことから一度延期としましたが、2年ぶりの対面での開催にこぎ着けることができました。会員企業・団体から計79名の参加をいただき、盛会に行われました。

開会冒頭、涌井理事長から、「コロナ禍により世界の価値観は成長だけを目指すのではなく持続的な成熟を目指すように変化しており、グリーンリカバリーが主題になろうとしている。その中で森林の効用・機能には大きなものがある。ウッドショックにより国産材へシフトする流れがある中、川上から川下までが一体となっているが故にコンソーシアムが一定の答えを出すことができるのではないかと考えている。皆様方と連携しこうした課題に取り組み、足腰の強い林業界・木材業界を創出できればと考えている。」とあいさつをいただきました。

通常総会では、昨年度の事業実績・収支決算報告と今年度の事業計画・収支予算、規約の一部改正など、5つの議案について全て原案通り承認をいただきました。

続く記念講演会では、元農林水産事務次官で岐阜県立森林文化アカデミーの特別招聘教授の末松広行氏から「森林・林業・農山村×イノベーション」と題して講演をいただきました。

また、会場の後方には各委員会の取組状況やスマート林業に関する取組を紹介する展示コーナーを設けました。総会の前後に多数の皆様にご覧いただきました。

今年度も承認された事業計画に沿い、各委員会における共同研究開発活動を中心に活発に取り組み、会員のメリットや参加の意義を増進させるため、コロナ禍にあり動きが取りづらい中ではありますが各事業を積極的に展開してまいります。今後も会員の皆様から各活動への積極的なご参加をお願いいたします。



● 「表層圧密木材用途開発プロジェクト」が完了しました

当コンソーシアムの木材利用拡大員会では、県産材の販路・需要拡大を図るため、平成30年度からナイス(株)が中心となって県産大径材を活用した高付加価値化製品の用途を開発する「表層圧密木材用途開発プロジェクト」を展開してまいりました。3年間のプロジェクト活動期間を終えたことから、関係する皆様へ活動報告書をお送りし、総会でも展示・紹介させていただきましたが、本書でも簡略ながらご報告をいたします。

活動としては、県内の製材・乾燥・加工に関係する会員で体制を作り、表層圧密材の製造基準の探索から試作品の作成、各種展示会でのPRによる意見の聞き取りを行いました。主な成果としては、県産表層圧密材を用いた標準規格化製品として、会員企業において製品が販売されることとなりました。

詳細な報告書について必要とされる方は事務局までご連絡ください。また、かわら版 第22号 (R2.6.24発行) においてご報告したように、セラミックパークMINO(多治見市)の岐阜県現代陶芸美術館の入口横に表層圧密材を各所に使用した木育スペースを設けておりますので、引き続きご覧いただくことができます。

● 試験機器等の利用料を助成しています

コンソーシアムでは、特別会員および一般会員の皆様へ、岐阜県立森林文化アカデミー及び岐阜県森林研究所の開放試験機器等の利用に対する助成金を交付しております。助成額は利用料の半分、上限10万円/年で、使用できる機器としては木材乾燥機、実大強度試験機、タワーヤードなどがあります。(機器詳細はホームページをご確認ください。)

助成を受けたい場合、まずは事務局までご連絡ください。



曲げ強度試験の様子



展示会における製品展示の様子



開発した製品(展示用)



表層圧密材を使用した木育スペース

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com